

令和4年第4回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
12月13日(火)	午前	1	高橋 妙子 議員		○	
	午後	2	藤井 秀人 議員		○	
		3	齋藤 和也 議員		○	
		4	小林 由明 議員		○	
14日(水)	午前	5	土田 昇 議員		○	
		6	佐野 大輔 議員		○	
	午後	7	田澤 信行 議員		○	
		8	近藤 隆行 議員		○	
		9	長井 由喜雄 議員		○	
15日(木)	午前	10	稲村 隆行 議員		○	
		11	渡邊 雄三 議員		○	
	午後	12	タナカ・キン 議員		○	

令和4年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	高橋 妙子 (一問一答方式)	1. 女性支援について	(1) 困難な問題を抱える女性への支援状況について	① 女性が社会生活を営むに当たり、女性であることにより、様々な困難な問題に直面することが多いことに鑑み、2024年4月に困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されるが、市には現在どのような課題があると認識しているか伺います。
			(2) 生理用品配布の現状について	① 市の窓口で生理用品を取りに来ることに抵抗を感じてしまう女性も多くいると思うが、その件に関してどのように認識しているのか伺います。 ② 生理の貧困の背景に困難な問題を抱えている生徒がいた場合において、次の支援に繋げることが出来ているのか等、学校や保健室の実情を伺います。 ③ 小中学校のトイレに生理用品を設置することを検討すべきだと思うが、市としての考えを伺います。 ④ 小中学校での性教育の現状と、これからの課題に対して、市はどのように認識しているか伺います。 ⑤ 市はこの先、どのような目的意識を持ち、生理用品の無償配布事業を継続していくのか伺います。
2	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 市長の政治姿勢について	① 4期目に入られた市長の最重要課題として考えられている項目は何か伺いたい。また、新たに課題解決のため取り組まれる具体的な考えがあればあわせて伺いたい。
		2. 10月23日市議会選挙について	(1) 投票率について	① 投票率が50%を切った現状をどのように考えられているのか。また、原因はどこにあるのか伺いたい。 ② 投票率アップに向けて何か方策を考えているのか伺いたい。
			(2) 投票所における問題点について	① 高齢者・障害者に対する投票所の整備はなされているのか伺いたい。 ② 今後、人口減少、世帯数の増加地域も含め、投票所の見直しは考えているのか伺いたい。
3	齋藤 和也 (一問一答方式)	1. 学校教育について	(1) コミュニティ・スクールについて	① 子供たちを取り巻く環境や抱える課題は複雑化・多様化しております。学校だけでなく、地域全体で子供たちを育てる環境が必要です。近年、コミュニティ・スクールの導入が進められておりますが、燕市のコミュニティ・スクールへの現状の取り組みについて伺いたい。 ② 燕市はどのように取り組んでいかれるのかについての今後の展望、地域と学校との関係性を築いていくのかについて伺いたい。
		2. 幼児教育について	(1) 児童送迎バスについて	① 近年、児童送迎バスでの児童の置き去りに伴う死亡事故が多発しております。燕市の児童送迎バスを活用している保育園やこども園について現在の対応について伺いたい。 ② 置き去り防止のための安全装置の義務付けが政府より発表されています。燕市の児童送迎バスの安全装置の設置状況について伺いたい。

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
4	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 移住定住 人口増と創 業支援につ いて	(1)創業を取り 巻く環境の さらなる向 上について	<p>①市はかねてより、「創業しやすいまち燕」を目指し創業支援に注力してきている。 担当課の努力はもちろん、イメージアップ戦略や移住定住支援、未利用不動産の活用支援、そして居住・都市機能誘導区域内の活性化策など様々な施策とあいまってその成果を導いていると感じているが、さらなる創業促進のためにどのような取り組みができるかと考えているか。</p> <p>②創業支援については市行政がそのすべてを担うわけではなく、金融機関、宅建業者、商工団体など様々な事業者、機関がそこに関わりを持っており、こうした事業者や機関などとの連携を強化発展させることにより、さらに充実した支援体制の構築が可能だと考えている。 燕市は産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を全国で最も早い時期に作成し、それを核にした創業支援を展開するなど、すでに基盤となる体制は構築されているものと考えているが、デジタル化による業務効率や利便性向上などが求められる現代社会にあっては、インターネットを活用した、ワンストップでそれら事業者などの各種支援につながることでできる仕組みを構築すべきと考えている。 創業準備期から創業後の成長期を支援するWEB上でのワンストップ型プラットフォームを開設できないか。</p> <p>③燕市は、少子高齢化と人口減少を最大の課題に位置づけ、国に先駆け人口減少に対する取り組みを展開してきている。 第2次燕市総合計画にある通り、新たな産業育成・創業の支援は定住人口増に資するものであり、特にそれらを担う働き盛り世代人口の増減は、詰まるところ自治体の存続を左右するとともに住民の生活に大きな影響を与える極めて重大な問題である。 住民無くしては自治体も未来も無いという危機感から、自治体間で苛烈な住民争奪戦が繰り広げられていることから、自治体存続にかかわる市内人口増のための各種取り組みは最も注力を要するものである。 人口増に資するのみではなく、雇用創出や産業の新陳代謝、そして市民生活の質の向上などを導く創業の活性化は、移住定住施策などと一体的に、最優先課題の一つとして取り組む必要があるが市はどのように考えているか。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 者 の 氏 名	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
4	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 移住定住 人口増と創 業支援につ いて	(2) 創業と居住 誘導と人口 密度につ いて	<p>①医療、福祉、子育て、商業等の生活を支えるサービス業については特に、創業や事業経営に与える人口密度の影響は小さくないと考えているが、市は人口密度が与えるそれらへの影響についてどのように捉えているか。</p> <p>②一定程度以上の人口密度等があることで経済効果が生まれるとされており、そうしたことを目的に燕市立地適正化計画において居住・都市機能誘導区域を定め、そこに誘導するための様々な策が講じられている。その一方、旺盛な宅地造成や住宅新設は居住・都市機能誘導区域外へしみ出し続けており、密集市街地問題を抱える誘導区域内でのそうした動きは生じていないように感じているが、その実態や背景について伺いたい。また、そうした状況に対し人口密度の維持上昇の観点からどのような考えをもつか伺いたい。</p> <p>③高齢化と人口減、そして市街地外縁部での住宅新設が進む中であって、多死社会となる2040年ころには、小さく散在する空き地空き家等の低未利用地や管理不全化する老朽建物は加速度的爆発的に増加することが想定される。</p> <p>これまで行政は、基本的には民間による開発・建築行為を待って規制などによりそれらに受動的に関与をしてきたが、現在、密集市街地を含む市街地での低未利用地問題は行政の能動的な働きかけなしには解決改善しないことは明らかであり、人口密度の維持上昇は望むべくもない。</p> <p>市は現在、中心市街地再生モデル事業などに取り組み民間事業者とともに市街地再生に成果を上げていることは評価されるべきであるが、さらにそれら市の取り組みの成果を高めるためにも誘導区域内における低未利用地の地権者等と利用希望者とを能動的にコーディネートするなど、小さく散在する空き地空き家等低未利用地の利用を促進する一歩踏み込んだ取り組みは必要であると考えている。</p> <p>創業するにも人が住むにも現実の場所が必要である。人口密度を維持し高めるために、創業する場所、居住する場所の創出やそれが創出されやすい環境の整備にこれまで以上に踏み込んだ取り組みはできないか。</p>

発言 の 順序	発 言 者 の 氏 名	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
5	土田 昇 (一問一答方式)	1. マイナンバーカード 利用拡大の 問題点につ いて	(1) マイナンバー カードの 取得率向上 の問題点に ついて	<p>① 政府は2022年今年度末までにマイナンバーカードを「ほとんどの住民が保有」することを目指して、2019年度の補正予算114億円、2020年度予算に1,664億円さらにマイナンバーカード取得促進の事業として「マイナポイント事業」で2020年度9月から翌年の3月までの期間中にマイナンバーカードと決済サービスを連携させて決済を行った場合、最大で5,000円相当のポイントが付与するマイナポイント事業を計画し、2019年の補正をさらに補正し21億、2020年度には2,457億円計上してきました。</p> <p>現在は、カード取得者にキャッシュレス決済で使える最大2万円分のポイントが付与する「マイナポイント第2弾」を実施しています。</p> <p>さらに自治体独自のポイント制度も10月から一部で開始し、来年度はシステム導入費を補助して全国展開を目指すとしていますが、燕市の現状と対応について伺います。</p> <p>② マイナポイント第2弾は希望者が想定を下回り、9月末としていたカード取得申請の期限を年末まで延長する事態になっています。現在の燕市の普及率は11月末の時点で、人口総数と交付枚数、人口に対する交付枚数率はどのような状況になっているのか伺う。 (8月末時点の県の取得率は平均41%になっています。)</p> <p>③ 9月22日の新潟日報の報道によれば、2023年度に創設し自治体に配分する予定のデジタル田園都市国家構想交付金の一部について「住民のカード取得率が全国平均以上」でなければ受給を申請できない仕組みにするとしており、自治六法の関係で違反に近いと思うがその認識について副市長に伺う。</p> <p>各自治体が申請したくても取得率が低迷する自治体配分額はゼロとなり、異例の手法と言えると報道されましたが、本年度予算書の歳入29ページの総務費国庫補助金の中の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」76,350千円と「デジタル田園都市国家構想推進交付金」16,631千円が該当すると思うがその点について伺う。</p> <p>④ 国はマイナンバーカードを使わざるを得ない状況を作り出し、健康保険法と戸籍法まで改正して現在実施していますが、会社の社会保険や国民健康保険、後期高齢者保険等々の取り扱いについてはどうなっているのか、社会保険に対しては、企業に出向き取得申請を受け付ける「出張窓口」の設置を要請してきていますが、職員の少ない市町村は対応できないと苦勞されていますと報道されています。</p> <p>燕市としての対応はどうなっているか伺うと同時に「マイナ保険証」で対応できる病院はどのような状況になっているか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 者 の 氏 名	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
5	土田 昇 (一問一 答方式)	2. 教育関係 について	(1)市の実態と 対応につ いて	<p>①全国の小中学校で2021年度に30日以上欠席した不登校の児童生徒数は、24万4,940人で2020年度より約4万8,800人増えて、過去最多だったことが文科省の調査で分かったと新聞報道されました。</p> <p>新潟県も742人増えて、過去最多の3,854人となっています。その内訳は小学校1,195人(2020年度と対比して226人の増加)中学校が2,659人(同じく516人の増加)となっています。</p> <p>その原因として、県教育委員会は長引くコロナウイルス感染症で子供の生活リズムが乱れたことや、2020年度から学校生活で多くの制限があり、交友関係を築くのが難しかったことなどが影響したと分析していますが、市の実態と対応について伺う。</p> <p>(各学校の数字についても確認します。)</p> <p>②2021年度の文科省の調査では、小中高校などが認知したいじめは最多の約61万5千件に上り、新潟県も2万1千件と2年ぶり増加したと承知していますが、市の実態はどうなっているのか、いじめがあったらどのように対応してきたのか伺う。</p> <p>③以前から指摘されてきた問題として、教師の労働時間が長く多忙な状況で厳しい環境と言われてきたが、改善するには教員の増員が求められると思うが、教育長の認識について伺う。</p> <p>④燕市のスクールカウンセラー状況はどうなっているか伺う。</p> <p>⑤新型コロナウイルスの関係で来年の高校入試で影響がでないか心配があります。現状と今後の対応について伺う。</p>
6	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 交流人口・ 活動人口に ついて	(1)市民活動の 支援につ いて	<p>これまで新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな活動が中止になり、対面でのイベントも以前に比べて少なくなっている。</p> <p>そのような状況の中でもさまざまな団体が工夫して、また、新たな活動を始めていく中で、市としても社会貢献性の高い活動については支援をしていく必要があると考える。</p> <p>その上で現状の制度と今後の方向性について以下の通り伺う。</p> <p>①イキイキまちづくり事業助成金の利用の現状について伺う。</p> <p>②助成金における団体の費用負担の割合とその考え方について、事前に社会貢献性、経費の適正性などを審査すること、そもそも活動やイベントの実施までに様々な労力や調整に負担がかかることから助成率は設けない形での助成に拡充すべきと考えるのがいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 者 の 氏 名	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
6	佐野 大輔 (一問一 答方式)	1. 交流人口・ 活動人口につ いて	(2) 地域活性化 のための民 間主体のイ ベントへの 支援につい て	① 県では消費喚起という目的ではあるが、民間企業や団体が行うイベントを中心に「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業にて支援を行っている。 市でもこれまでフェニックスクーポンという形で市内企業の支援を行い、ツバメルシェを通して市内企業が出店できるイベントを官民連携して企画してきたが、交流人口、活動人口を増やして地域を活性化するためにもイベントが減っている中でさまざまな企業や団体が民間主体で行うイベントの支援を進めていくことでよりこれらの人口増につながると考えるが市の見解はいかがか。
		2. 地場産業 の活性化につ いて	(1) 新規事業に 対する支援 と申請のデ ジタル化につ いて	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、さまざまな事業者が既存事業からの事業転換を検討しており、それに伴い、国では事業再構築補助金、県では新事業チャレンジ補助金などの取り組みがなされている。市でもさまざまな事業を行っていると理解しているが、そのうえで以下の通り伺う。 ① 地場産業の新規事業に対する支援について、市としても新規事業創出を目指す「Re:BooT」を始めたことから新商品開発事業の補助金を新規事業も対象にできるように変更もしくは、新規事業を支援するための補助金の新設をすることで一貫した支援を実現できると考えるが市の考えを伺う。 ② 補助金申請のデジタル化について、市として市内中小企業のDX化を推進するセミナーの開催やそのための補助金を用意して、DXの必要性を促している一方で、それらの申請が現状、郵送か窓口での提出のみとなっている。市全体もDX化を進めているところからこういった申請からまずはDX化を進めることはできないか。
		3. 燕市のP Rについて	(1) 官民協働の 発信につい て	① 燕市のホームページにおいて市のPRや移住、ふるさと納税などの周知を行っているが、燕市のホームページを利用する方の多くは「燕市」と検索して閲覧している方や基本的には市内の方もしくは、すでに燕市に興味を持っている方がアクセスしていると考えられる。 一方で、市内企業のWebサイトは首都圏で開催する展示会に毎年数多くの企業が出展していること、また、ものづくりやその商品の販売については全国からの依頼を受けていることから県内外の方々からのアクセスが見込まれる。 さらには、首都圏などから実際の製造現場を見学しての打ち合わせのために出張等で燕市を訪れる方も多いため、県内外に燕市をPRする手段として、市内企業と連携し、企業のホームページに燕市の観光やふるさと納税、移住ページなどのリンクやバナーを貼ってもらうことで燕市のPRに有効と考えるが、市の見解を伺う。

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
7	田澤 信行 (一問一 答方式)	1. 公共交 通 網のビ ジョン につ いて	(1) 巡回バ ス 「スワ ロー 号」の 停留所 につ いて	① スワロー号のバス停に関しては多くの市民から要望もあり、かつ過去の一般質問でも多くの議員が取り上げてきたものと認識しています。バス停の増設やベンチの設置など各種要望に対して、当局の答弁では都度、アンケートを実施し検討するとの答弁だったと思いますが、スワロー号の停留所に関して過去見直しが行われた実績があるのか伺います。また、市民のバス停に関する要望をどのように捉えているのか伺います。 ② 来年7月にオープンを予定している西部卸売市場ですが、私は6月定例会で新たな人流確保のためにもスワロー号のバス停を新設することを提案し、前向きに検討するとの答弁を頂きましたが、その後、バス停の新設がどうなったのか伺います。
			(2) コン パク トシ ティ の 推 進 と 公 共 交 通 に つ い て	① 燕市は立地適正化計画においてコンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりを目指し居住地の集約化などを推進していますが、それと同時に公共交通をどのように整備しようとしているのか伺います。なお、立地適正化計画にも《公共交通の考え方》として記載されていますが、具体性に欠けているので具体的な基本構想を伺います。 ② コンパクトシティ化に関して同僚議員が何度となく富山市の路面電車事業や市内電車環状線化事業について一般質問の中で提言していますが、燕市として中長期の公共交通ビジョンを計画しないのか伺います。
			(3) 交通 難 民 者 に 対 す る 行 政 サ ー ビ ス に つ い て	① 今後、ますます増えると予測される交通難民者（免許証返納者、高齢者など）へのサービス体制の拡充は近々の課題と思うが、現在はどのようなサービスに取り組んでいるのか伺います。
8	近藤 隆行 (一問一 答方式)	1. 高 齢 者 、 障 害 者 等 の 社 会 的 弱 者 の 交 通 手 段 に つ い て	(1) 循環バ スの 空 白 地 域 に つ い て	① 高齢者、障害者等の社会的弱者の交通手段の確保については、当事者の生活にとって死活問題となる大事なことであると思います。特に少子高齢化に関しては、想定より7年も早くなっている等のデータもあり、今まで以上に公共交通の重要性は増してくると思われま す。 その上で、市内の公共交通の要は循環バスであると思 います。現在スワロー号、やひこ号、新たな試みとしてコ ミュニティバスの実証運行を行われております。 ただ、今回の実証運行もそうであるように、人口集中度 の高い地域が前提となっていますが、循環バスの空白地 域について、現在市はどのように考えているか伺いま す。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	近藤 隆行 (一問一答方式)	1. 高齢者、障害者等の社会的弱者の交通手段について	(2) 乗り合いワゴン車「おでかけきららん号」の運用について	<p>① 乗り合いワゴン車「おでかけきららん号」は、市民の皆様からも喜ばれ、市も様々運用を改善してきている経緯はあると思います。 しかし、先ほども触れましたが、少子高齢化は待ったなしの問題で、今後の需要拡大は明らかであると思います。市は「おでかけきららん号」に対して、今後どのように運用していこうと考えているのか伺います。</p> <p>② AIを活用したオンデマンド交通システムが近年開発され、各自治体も活用し始めておりますが、市ではどのようにお考えか伺います。</p>
		2. 人口増加への戦略について	(1) 燕市独自の奨学金返還支援事業について	① 市内の人口減少対策が様々行われている中、奨学金返還支援事業は、市外、県外に出ていった学生、また燕市に魅力を感じている学生に対して、U・I・Jターンなどを促し、人口増と、もう一つの問題である企業の若い人材の確保を促すことで、より注目されている支援事業となっております。市ではこのような支援事業に対して、どのように考えているか伺います。
			(2) 燕市内の奨学金返還支援実施企業の把握と、対応について	<p>① 社員が学生時代に借りた奨学金について、2021年から奨学金を貸与する日本学生支援機構に対し、企業が直接返済できる「代理返還」制度が導入され、このような奨学金返還支援事業を独自で行っている企業が全国的にも増えております。市内のそのような企業を市は把握しているか伺います。</p> <p>② 奨学金返還支援事業に取り組む市内の企業を増やすため、市で推進、またそのような企業を内外にアピールしていく考えはないかを伺います。</p>
9	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 市長の子育て施策に対する姿勢について	(1) 子どもの医療費助成の無償化について	① 子どもの医療費助成については無償化を願う声が増えてきている。負担が大きくなる入院時は一日あたりの負担は一部負担の1,200円のほか、標準負担額として一食あたり460円、一日では1,380円、合わせて最低でも2,580円かかることになる。一か月入院すると、最低でも約8万円の自己負担となり、負担は重い。一部負担金については新年度から入院時の負担の無償化を実現していただきたいがいかがか。
			(2) 学校・保育施設の給食費と保育料無償化について	① 先の任期の最後となる9月議会でも問い、市民からもこれを強く願う声が寄せられている。子育て支援のひとつの形の完成形は、義務教育期間において、公的な支援が充実し、子育て世代の負担を軽減することにあると考える。 給食費と保育料について無償化することを真剣に検討していただきたいがいかがか。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 者 の 氏 名	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
9	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	1. 市長の子 育て施策に 対する姿勢 について	(3) 子供にかか る国保税の 均等割をな くしていく ことについ て	①国保税のみが18歳までの「子ども」にも均等割という税をかけている。国民の声に押されて、国も修学前までの子供を対象に均等割の半額相当額を公費で賄うようになったが、依然として子供に税がかけられていることに変わりがない。 市独自の均等割に対する軽減策を講じてほしい。 市の考えを伺う。
			(4) 出産育児一 時金の増額 を	①出産に伴う費用は増えている。市は平均出産費用を把握しているか。現在の燕市国保では現在44万円としているが、近年の少子化もふまえて増額を検討すべきではないかと考えるが市の考えを伺う。
		2. みなみ親 水公園等 について	(1) みなみ親水 公園の維持 管理につい て	①2010年4月のみなみ親水公園開園後、どのように維持管理がされてきたのか ・年間維持管理について ・樹木管理について ・遊具の管理について ・トイレに子供用がないことについて ・ベビーカーがあまりにも酷いままとなっていることについて伺う。 ②親水公園の危険箇所とその認識について ・管理棟から道路に面する部分・木道・公園内水路にトラロープ・公園脇用水の橋付近の柵が横柵で隙間が大きいことなどについて、市の認識と対応について伺う。
		(2) 改修工事につ いて	①みなみ親水公園は、燕市を代表する公園のひとつであり改修工事が急がれる。新年度において全面的な改修費を盛り込むべきではないか。	
(3) 「燕市都市 公園条例」 にてらして	①条例では公園の住民1人当たりの面積を示しているが、燕市の現状はどうなのか。 また、「区域内の」という表現を用いているが、区域とはどこまでを指すのか。 ②閉園期間とトイレについてだが、公園は年間を通じて市民の憩いの場や運動、遊びの場であるべきと考える。「管理棟」などが「閉園期間」に雨宿りもできないところであっていいのか。 また、トイレも閉鎖するなど、公園のあり方としてどうなのか。 利用できるとしても障害者用のみ施設されるなどもあってはならないのではないかと。公園の在り方を見直すことが求められると思うがいかがか。			

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	長井 由喜雄 (一問一答方式)	3. 燕市B&G海洋センターの施設状況について	(1) トイレをはじめとした施設の改修について	① 令和3年度の施設利用数を見ても約29,000人が利用する施設となっている。現在ビジョンよしだの改修で、利用が増えていることとも思うが、施設改修の見通しを伺いたい。 ② トイレについては、男女別の洋式トイレをはじめ、誰でも利用できるバリアフリートイレなども早急に整備する必要があると考えるがいかがか。
10	稲村 隆行 (一問一答方式)	1. 新型コロナウイルスワクチン接種について	(1) 新型コロナウイルスワクチン接種に関するデータについて	① 新型コロナウイルスワクチンの接種に関して、国内外から日々新しい情報が専門家やメディア等で発信されておりますが、それについて市としてどのように情報収集を行っているかお伺いします。 ② 新型コロナウイルスワクチン接種開始から1年半以上が経過し、ワクチン接種が人体に及ぼす影響や様々な副反応が起こるメカニズムに関し科学的根拠に基づいた論文が専門家から出されていますが、市として内容を把握されているかお伺いします。
			(2) 新型コロナウイルスワクチン接種のリスクに関して	① 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応等のリスクについて、市民にどのように情報提供をされているかお伺いします。
11	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 燕市ゼロカーボンシティ宣言実現に向けて	(1) これまでの取り組みについて	① 燕市ゼロカーボンシティ宣言を発表してから半年が過ぎましたが、これまでにどのような施策をしてきたのか又、実現に向けてどのように進めていくのか伺います。
			(2) 第3次燕市総合計画第3次環境基本計画への反映について	① 令和5年度から第3次燕市総合計画第3次環境基本計画が開始されますが数値的な達成目標を定め、今後具体的な実現方法を検討していく方針を盛り込み、市としての意気込みを明示し、知ることが大切と思うがお考えを伺います。
			(3) 推進に向けて市民との協働の必要性について	① 実現に向けては、何よりも市民の協働が必要であります。市民・学校・ボランティア団体等と連携の必要性をどのようにとらえ推進していくのか伺います。 ② 夏季にグリーンカーテンを通して温暖化対策を協働する市民、ボランティア団体に対して花植え活動と同じように、希望する方へ、苗木や種の無償提供をしていただきたいがお考えを伺います。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
11	渡邊 雄三 (一問一 答方式)	2. 通学路の 安全対策 について	(1)危険箇所の 解消につ いて	①令和3年6月28日に八街市で起きた事故を受けて実施した一斉調査で新たに見つかった危険箇所が27か所ということで認識しているとあったが、以前に確認していた危険箇所とあわせてどのような場所で、どのように改善されたのか、地域別に伺います。 ②保護者へ危険箇所の周知に対して、長期休業前に地域子供会を開いて周知していると認識しているとあるが、今回のような時期に保護者への情報伝達が出来ていたのか伺います。
			(2)登下校時の 見守りに ついて	①昨年12月議会での答弁で15校すべての学校で実施されているとの答弁であったが、学校別にどのようにされているのか状況を伺います。 ②下校時の見守りについては、学校区によってかなり体制が異なっていると思うが、認識を伺います。
		3. 人口増戦 略につ いて	(1)子育て支援 について	①コロナ禍の影響、ロシアによるウクライナ侵略等の影響で物価の上昇が続いています。どの世代の方々も大きく影響を受けていますが、子育て支援の必要性について、どのように考えているのか伺います。 ②子育てするなら燕市で、をアピールできるような子育て支援事業をして頂きたい、例えば、仮称赤ちゃん誕生お祝い支援事業として、幼児用紙おむつのクーポン券の配布等の支援事業を検討していただきたいがお考えを伺います。
12	タナカ キン (一問一 答方式)	1. さくら公 園につ いて	(1)さくら公園 駐車場の現 状について	①分水地区にある「さくら公園」だが、現状では駐車場の白線が消えかかっている。この公園の駐車場のスペースは普通車150台、大型車9台の計159台である。コロナのために中止等をよぎなくされてきた「おいらん道中」が来年は4年ぶりに桜並木で開催されるとのことである。これまでも「おいらん道中」の時には、市内外から多くの人を訪れ、この駐車場も満車状態になる。 しかし、この様な状態ではどんなトラブルが起こるかわからない。「おいらん道中」までに白線を引き直す必要があると思うが伺う。
		2. 歩道の整 備につ いて	(1)商店街の歩 道の整備に ついて	①国道の整備に伴い歩道も整備されるが、歩いている人をほとんど見かけない。歩行者が一番利用する歩道は商店街の歩道である。そして、歩行者の多くは子供を除けば高齢者であるといえる。 杖をついている方も多いため歩道が傷んでデコボコしていたら危険である。押し車を利用されている方ならなおのことである。 商店街に人を呼び込みたいというのが市の考えであれば、商店街の歩道整備は必要であると思うが伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	タナカ キン (一問一答方式)	3. 紙おむつ支給事業について	(1) 対象者について	<p>現在、市の紙おむつ支給事業の支給対象者は、市民税非課税の在宅の人で常時紙おむつ（150CC以上の尿取りパッド）が必要な人、要介護1・2・3・4・5他に身障者ですが、要支援1・2の人は対象外になっています。</p> <p>①対象者である要介護1～5と身障者等の人数と実際に利用されている人数を伺います。</p> <p>②利用率についても伺います。</p> <p>③この事業費について伺います。</p>
			(2) 対象者以外について	<p>①要支援1・2は対象外になっていますが、人数をお聞きします。</p> <p>②要支援であっても紙おむつ等が必要な高齢者もいらっしゃると思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>③仮に要支援の人でも必要な人に支給するとしたら、全体の事業費はどれくらいになると想定しますか。</p>
		4. ふるさと納税について	(1) ふるさと納税について	<p>①2022年、総務省で発表された県内の納税金額ランキング1位は南魚沼市で45.01億円、2位は燕市で44.43億円と2位になったとはいえ、すごい数字であることは間違いない。</p> <p>今後の戦略について伺う。</p> <p>②過去、数年のリピーターの状況について伺う。</p> <p>③寄附者が指定した寄附金の使い道について、クラウドファンディング型は具体的な使い道を示しているが、通常型では「産業の振興に関すること」「教育、福祉、子育てに関すること」「市長にお任せ」と事務的である。</p> <p>この表現を見直すこと、例えば福祉としてなら「高齢者にいつまでも元気でいてもらうために」等、具体的にイメージ出来ることの方が燕のイメージアップにつながると思うが伺う。</p>